

平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	チャレンジB(TOEIC)		授業コード	N100201
担当教員名	ダレン ウォール		科目ナンバリングコード	N31002
配当学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	特になし			
受講心得				
教科書	プリントを配分します。			
参考文献及び指定図書				
関連科目	TOEICセミナーI,II			

授業の目的	英語でのコミュニケーション能力が上がるように、読解力、聴力、会話力、文章力を改善させることだけでなく、学生自身は今後の英語の勉強において、こういう能力を上げられるような枠組みも導入します。
授業の概要	毎週一つのメディア(読解、聴解、動画など)を勉強し、その内容について英語でディスカッションをします。特に、英語の理解を深めるようにその文化の違うところについても一緒に考えてみます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：読解1 教科書から取りました記事を読み、分析します。	宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第2週：読解2 教科書から取りました記事を読み、分析します。	宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第3週：読解3 教科書から取りました記事を読み、分析します。	宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第4週：読解4 教科書から取りました記事を読み、分析します。	宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第5週：読解5 教科書から取りました記事を読み、分析します。	宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第6週：聴解1 現在のポピュラーミュージックによる聴解演習。	宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。

第7週：聴解2 現在のポピュラーミュージックによる聴解演習。		宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第8週：小テスト		
第9週：聴解3 動画による聴解演習。		宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第10週：聴解4 動画による聴解演習。		宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第11週：聴解5 動画による聴解演習。		宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第12週：高度の読解1 文学の読解演習。		宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第13週：高度の読解2 英語で書いてある仕事募集の読解		宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第14週：高度の読解3 新聞の読解演習。		宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第15週：高度の読解3 新聞の読解演習。		宿題として授業で学んだ新しい単語の例文を作成することまたは発表準備すること(30分)。
第16週：		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	演習形式の授業であるために、必ず休まずに出席し、活躍すること。
【知識・理解】	新しい単語や文法を理解すること。
【技能・表現・コミュニケーション】	職場や余暇においても、英語で基本的なコミュニケーションができる、異なる文化のところの存在を認識すること。

【思考・判断・創造】	
-------------------	--

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			30点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	20点	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	